令和３年度志教育

「志教育の実践　本校の取組」

宮城県柴田農林高等学校

１　取組の実際

本校では，志教育の目標として「生徒の『夢』を『志』に醸成し，その『実現』を図る」，「専門教科の魅力ある実験・実習を通して専門力を身に付けさせ，農業理解者の育成を図る」，「個人の人格と個性を尊重し，協調性を養うとともに社会人としての規範を身に付けさせる」という３つを掲げている。その目標を達成するため，以下の重点指導項目を設定している。

重点指導項目

社会での役割を『はたす』

・　学校や社会において自分の果たすべき役割を自覚し，責任を果たすことができる
・　社会性を身につけ，社会人として意欲的に農業に関係する産業技術者や農業理解者を育成する

人と『かかわる』

・　基本的な生活習慣とモラルを身につける
・　自己理解とともに，他者の価値観や個性を理解し認めることができる
・　場に応じた適切なコミュニケーションができる

よりよい生き方を『もとめる』

・　よりよく生きるために，自己の特長を活かし活躍できる，より現実的な進路を考える
・　進路目標達成のために，学習や実習，体験活動に全力で取り組む

「志教育」の目標

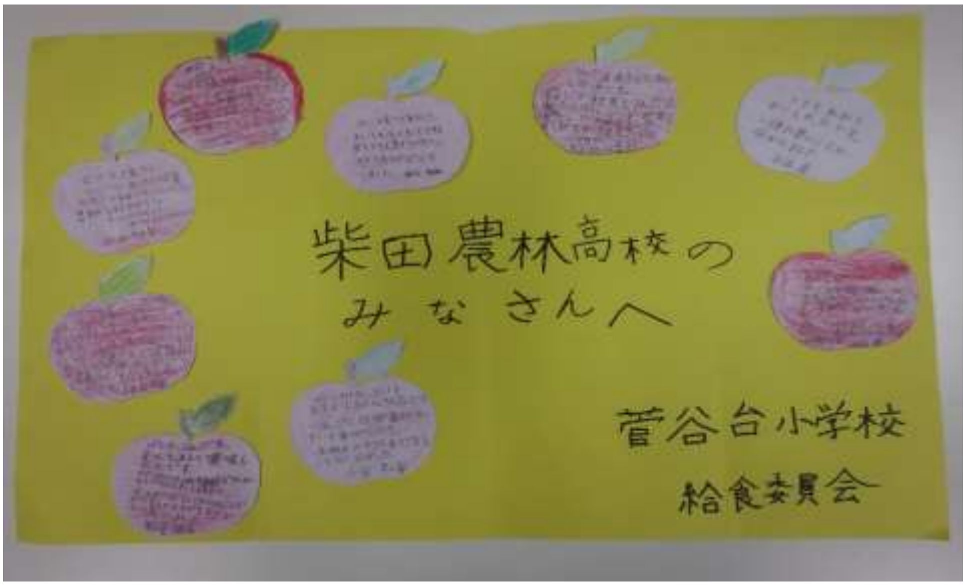
・　生徒の『夢』を『志』に醸成し，その『実現』を図る
・　専門教科の魅力ある実験・実習を通して専門力を身につけさせ，農業理解者の育成を図る
・　個人の人格と個性を尊重し，協調性を養うとともに社会人としての規範を身につけさせる

実践事例　地域から学ぶこと　テーマ【かかわる】【はたす】

本校の果樹専攻生（３年）は、日頃よりナシやリンゴの栽培に取り組んでいる。果樹農家の担い手はいないが，ここ数年は生産するだけではなく，地域の子育てサークルのリンゴ狩り体験を行うことで，地域の方たちと【かかわる】ことや，生産者として利府町の小学校に本校で栽培しているリンゴを給食の食材として提供し【はたす】ことの実践的な取り組みを行った。

（子育てサークルのリンゴ狩り体験）

（小学生へメッセージ）
※ビデオメッセージも送りました



（利府町の小学校からの御礼メッセージ）

このように，生徒は，子育てサークルとのリンゴ狩り体験を通して母親からは，子どもを預ける際は安心・安全が一番であることを「かかわり」から学び，更に給食の食材として提供する際は，自らリンゴを選別し責任を持って届けることを主体的に考え，「はたす」ことで社会における役割を直に知る成長の場となった。今後も日頃の授業から，社会人としての「生きる力」を身につけられるように取り組んでいく。